



令和4年12月号

## 支援を哲学するお話②

「子どもが中心であり、この中心の周りに諸々の営みが組織される。」  
 「教育とは、過去の価値の伝達ではなく、未来の新しい価値の創造である」

ジョン・デューイ

デューイは19世紀～20世紀に活動をしていたアメリカの教育哲学者です。

「児童中心主義」とも呼ばれるこの考え方は、子ども自身の活動や自発性、経験、問題解決を大切にしています。これは、保育や教育で考えれば「環境設定」の重要性を説いているのだと捉えています。「環境」と言うと場所や教材を考えがちですが、私は「人」が一番の環境要因だと考えています。共に過ごす「仲間」と共に、私たち「大人」も重要な「環境」です。主体を子どもと考えた時に環境である私たち支援者が、子どもの成長に少しでも良い影響を与えられる様な関わりが出来ると良いですね。

また、子どもたちは5年後・10年後・20年後の未来を生きる事を考えると、私たちが過去に学んできた常識は通用しない社会になっている可能性も考えながら、知識や学力だけではない、自分で考え・自分で選び・自分で決定する為の方法や手段が大切になって行きます。

「自己肯定感」という言葉は今では一般的ですが、始めにこの言葉を使い始めたのは汐見稔幸先生です。汐見先生は東京大学名誉教授や白梅学園大学学長などを歴任し、今も保育や教育者の育成やメディアでも活躍をされています。私も何度か汐見先生の研修や講演に参加をした事があるのですが、深い話をとても分かりやすくお話をされる方でした。

汐見先生は常に、子ども一人一人を「一人の人間」として同じ目線で語ります。汐見先生の話の聞いていると、同じ目線という事が「子どもの目線に下げて合わせる」という単純なものではなく、自然に合わさっている状態なのだと感じてしまいます。汐見先生は常に「共感する」事の大切さをお話されており、私たち支援者の基本的な視点として求められる力なのだと心掛けています。

汐見稔幸先生は様々な活動をしています。ご興味があれば。

臨床育児・保育研究会

<http://ikuji-hoiku.net/index.html>

家族・保育デザイン研究所

<https://kahoken.net/>

ぐうたら村

<https://gutara-v.net/>

児童通所課 嵯峨憲司

スタディサポートMJ所沢

埼玉県所沢市和ヶ原1-37-3大成ビル201

TEL : 04-2937-5432 URL:<http://melphis.co.jp/>



# 11月 活動報告

11/3

## みかん狩り

in 北野みかん園



出発前においしいみかんの特徴を確認し、準備万端でみかん狩りに行きました。収穫したみかんは各自おうちに持ち帰っています。



甘くて大きいみかんがたくさん採れました



選び抜いた一品



収穫後の休憩中…(早く食べたい)

当日は気持ちの良い秋晴れの中、3事業所の利用者をご家族様で賑わいました。お手伝いとしてきてくれていた子たちも、来場した方々にゲームの説明をしたりショップ店員としてお金のやりとりをしたりと大活躍。ご来場してくださったみなさま、お楽しみいただきありがとうございました！

11/5

## MJフレンドパーク

in 稲荷山公園



### 告知

3月には『MJバザー』が開催予定です。詳細は後日お知らせします。ぜひご参加ください！

11/23

## ボウリング & MJ狭山販売会

午前中はボウリング、午後からはMJ狭山の販売会に行ってきました。普段会う機会の少ない、他の曜日に来所している子同士でもお話や活動を一緒に楽しんでいました。

スターレーンで一勝負！



一味違う経験者たち



MJ貯金を使ってお買い物



どれも欲しすぎて悩む…



活動の様子は連絡帳やブログ、Instagramにてお知らせいたします。ぜひご覧ください。